

元気のヒント

◁41▷



徳島大学病院腎臓内科

長井 幸二郎

腎臓は、腰のやや上の辺りの背中側に左右一つずつあります。血液から尿を作り出すところで、それによって老廃物を出したり、体内の水分量を調節したりしています。また、血液の産生を促すホルモンを作る重要な臓器です。

「慢性腎臓病」とは、そうした腎臓の機能が慢性的に低下していく病気で、▽蛋白尿をはじめとする明らかな腎障害の存在▽腎臓の機能を表す値（GFR）が60未満のいずれか、もしくは両方が3カ月間以上続いている状態を指します。あまり耳にしない病名か

慢性腎臓病

もしませんが、慢性腎臓病に当てはまる人は、日本の成人の10%に当たる1100万人程度存在し、非常に多くある病気です。高血圧や糖尿病を合併している場合、腎機能が悪くなる速度が速く、特に糖尿病を合併している場合は、心臓や脳の血管障害が起こりやすいので注意が必要です。

主な症状は、体のだるさ、むくみ、息切れなどですが、初期は自覚症状がほとんどなく、検診などで発見されることが多いです。症状が出たときには病気がかなり進んでいる可能性があります。

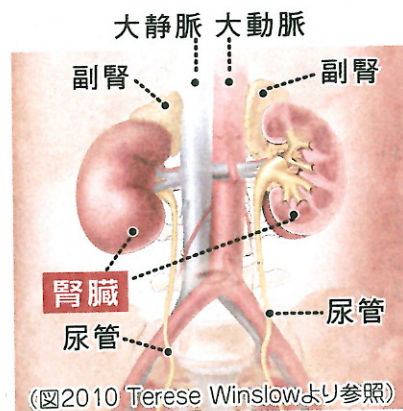
早期に発見されれば、投薬や食事療法によって治療したり、悪くなる速度を遅

早期発見へ定期検診を

初期は自覚症状なし

腎臓の主な働き

- 血液中の老廃物をろ過し尿として排泄する
- 血液中の水分や塩分のバランスを一定に保つ
- 血圧をコントロールする
- 送られてきた血液の中から体液に必要なものを再吸収する
- 赤血球を作るのに必要なホルモンを分泌する
- ビタミンDを活性化する



(図2010 Terese Winslowより参照)

くしたりすることが可能です。しかし、発見が遅れた場合はそういった治療では効果的ですが、腎臓の機能が悪くなると、血液透析、腹膜透析、腎移植といった腎臓の機能を代行するようになる必要があります。慢性腎臓病の患者に対しては本来、腎臓病を専門にしている医師が対応すべきです。しかし、患者数が多いことから昨年、徳島県医師会が中心となって慢性腎臓病に関する講習を開き、221人の開業医を「2次検診機関」として認定しました。こうした機関と連携

しながら、必要に応じて、より高度な検査が可能な徳島大学病院などの3次医療機関で、さらなる精密検査を行うことを考えます。慢性腎臓病の早期発見、早期治療のためには、定期検診を必ず受け、尿検査で異常を指摘された場合は、2次検診機関やかかりつけ医に相談してください。また、糖尿病の人は蛋白尿、腎臓病の人は蛋白尿、に特殊な微量アルブミン尿という検査が必要となります。かかりつけ医で定期的な検査が必要になるので、ぜひ通院を継続してください。